

令和4年度

お金の^{でどころ}出所と使い道

(栗原市予算概要)



第14回栗原市観光写真コンクール
優秀賞「深山の初夏」長谷川 久敏さん

はじめに

市民のみなさま、こんにちは。

令和4年度は、第2次栗原市総合計画後期基本計画がスタートする年となります。この新たな5年間の計画期間の中で明日を担う子どもたちに「豊かな美しいくりはら」を確実に引き継ぐため、各種施策の実行に全力を注いでまいります。



一方で、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、市民のみなさまには未だ不自由な生活が続いておりますことから、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種による感染症対策や地域経済の回復を図る各種支援策を着実に推進してまいります。

今年度は、『市民が創る くらしたい栗原』の実現に向けて、子どもたちの可能性を引き出し、きめ細かな教育体制を実現する「25人学級」を小学校低学年に導入します。また、栗原市で開催される全日本中学生ホッケー選手権大会の運営支援や小さなコミュニティを大切にしたい地域づくりを推進するため、清掃などの近所の助け合いに対する支援といった新たな事業にも着手しますが、公共施設の解体による施設数の最適化やICTの積極的な活用による行政の効率化など、行財政改革にも同時に取り組んでまいります。

市民のみなさまには、本書で市の予算や事業内容を身近に感じていただきながら、『市民が創る くらしたい栗原』の実現に向けて、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和4年4月

栗原市長 **佐藤 智**

～ 目 次 ～

はじめに	
予算の概要と市政の基本的な目標	1
令和4年度栗原市各種会計 予算総括表	1
一般会計歳入・歳出の状況	2
市民1人当たりの予算	6
財政状況の推移	7
(1) 人件費及び職員数の推移	8
(2) 扶助費の推移・分析	8
(3) 普通建設事業費の推移・分析	9
(4) 物件費の推移・分析	10
(5) 補助費の推移・分析	11
(6) 災害復旧事業費の推移・分析	12
財政運営の取り組みについて	13
一般会計・事業別予算一覧	14
1 「恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまち」	
(1) 美しい景観を守り、豊かな自然と共生した 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します	17
(2) 豊かな心と文化を育み、生涯を通じて学べるまちづくりを目指します	19
(3) 安全・安心なまちづくりを推進します	20
2 「子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち」	
(1) 結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します	22
(2) 次代を担うたくましい子どもを育成します	25
(3) 人とつながり、支え合い、互いに高め合う 子どもを育てる環境を目指します	26
3 「健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまち」	
(1) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります	27
(2) 高齢者が生きがいを持ち、互いに支え合うまちを目指します	28
(3) 市民が安心して暮らせるための地域医療を守ります	28
4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」	
(1) 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます	29
(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します	32
(3) 地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、栗原市を発信します	33
5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」	
(1) 小さなコミュニティを大切にされた地域づくりを推進します	35
(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します	35
(3) 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います	36
6 重点「放射能対策プロジェクト」	
放射性物質による不安を解消し、安心して暮らせるまち	37
7 特別会計・事業会計予算の主な事業	38

予算の概要と市政の基本的な目標

1. 予算編成にあたって

令和4年度の予算は、令和3年度に策定した第2次栗原市総合計画後期基本計画を基に新たなまちづくりをスタートする年となっております。この計画に掲げた新たな施策を着実に推進するとともに、これまで実施してきた事業の見直しを行い、本市の目指す『市民が創る くらしたい栗原』の実現に向けた予算を組み立てております。

また、予算編成に際しては、施設数の適正化に向けた公共施設の解体やICTを活用した業務効率化などを行いながら、持続可能な栗原市を目指し、効率的で安定した行政運営を行えるよう編成しております。

2. 予算の概要

今年度の主な新規・拡充事業は、子どもの出産後も安心して子育てができるよう支援を行う産後サポート事業、子どもの健全な発達と学力向上に向けた25人学級推進事業、普段の近所付き合いによる清掃などの助け合いを支援するご近所助け愛交付金事業を実施するほか、行政庁舎等照明設備のLED化や電気自動車購入支援事業、有害鳥獣処理施設整備事業などを予算化しております。

また、効率的で安定的な行政運営を目指し、旧鶯沢中学校校舎等の解体を進める公共施設最適化推進事業を実施してまいります。

主要事業としては、現在も進んでいる新型コロナワクチンの3回目接種や令和5年度に開館を予定している志波姫公民館の建設や買物施設等が少ない地区の乗合デマンド交通利用者へのタクシー利用助成事業による調査などを実施いたします。

以下、分野ごとに予算と具体的な事業内容についてご説明します。

令和4年度栗原市各種会計 予算総括表

会計区分	令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	比較	伸率(%)	全体の予算額 に占める割合 (%)
一般会計	422億2,300万円	401億7,800万円	20億4,500万円	5.1	51.0
特別会計	193億7,000万円	192億2,600万円	1億4,400万円	0.7	23.4
国民健康保険特別会計 (事業勘定)	77億9,500万円	77億6,300万円	3,200万円	0.4	9.4
介護保険特別会計	102億9,700万円	102億5,700万円	4,000万円	0.4	12.4
後期高齢者医療特別会計	9億6,500万円	8億9,200万円	7,300万円	8.2	1.2
診療所特別会計	3億1,300万円	3億1,400万円	△100万円	△0.3	0.4
事業会計					
水道事業会計	42億6,000万円	40億5,900万円	2億 100万円	5.0	5.2
下水道事業会計	52億6,600万円	54億3,900万円	△1億7,300万円	△3.2	6.4
病院事業会計	115億3,900万円	103億7,300万円	11億6,600万円	11.2	14.0
合計	826億5,800万円	792億7,500万円	33億8,300万円	4.3	100.0

※水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計は、収益的支出および資本的支出の合計額を記載しています。
 ※令和3年度当初予算は骨格予算となっております。

◎一般会計歳入歳出の状況

歳 入

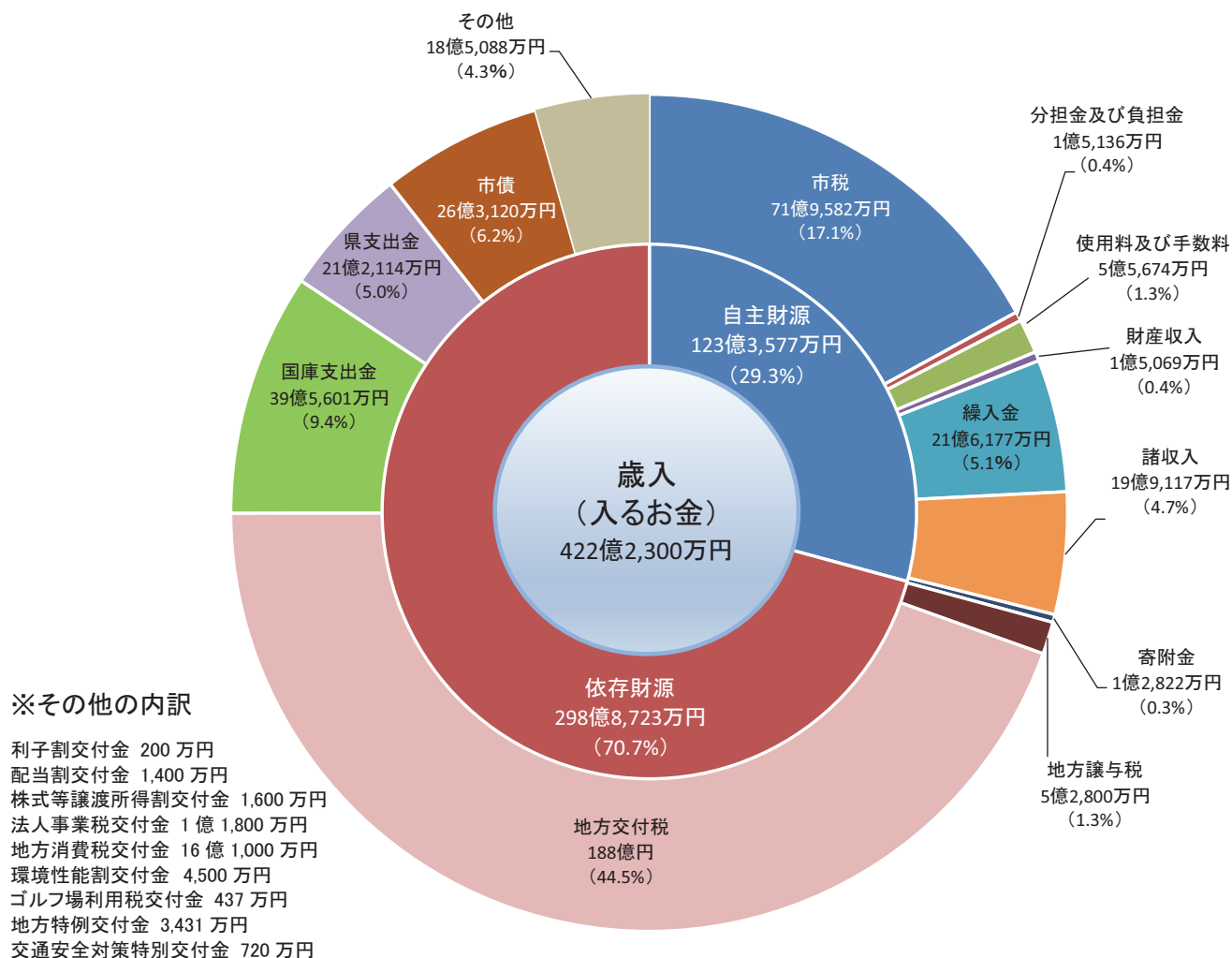
区 分	令和4年度当初予算		令和3年度当初予算		比 較		【参考】 令和3年度6月追加補正後予算	
		構成比		構成比		伸率		構成比
市 税	71億9,582万円	17.1%	70億8,807万円	17.6%	1億 775万円	1.5%	70億8,807万円	16.6%
地 方 譲 与 税	5億2,800万円	1.3%	4億7,600万円	1.2%	5,200万円	10.9%	4億7,600万円	1.1%
利 子 割 交 付 金	200万円	0.0%	300万円	0.0%	△100万円	△33.3%	300万円	0.0%
配 当 割 交 付 金	1,400万円	0.0%	1,400万円	0.0%		0.0%	1,400万円	0.0%
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	1,600万円	0.0%	900万円	0.0%	700万円	77.8%	900万円	0.0%
法 人 事 業 税 交 付 金	1億1,800万円	0.3%	6,000万円	0.2%	5,800万円	96.7%	6,000万円	0.1%
地 方 消 費 税 交 付 金	16億1,000万円	3.8%	14億3,000万円	3.6%	1億8,000万円	12.6%	14億3,000万円	3.4%
自 動 車 取 得 税 交 付 金		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
環 境 性 能 割 交 付 金	4,500万円	0.1%	4,400万円	0.1%	100万円	2.3%	4,400万円	0.1%
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	437万円	0.0%	399万円	0.0%	38万円	9.5%	399万円	0.0%
地 方 特 例 交 付 金	3,431万円	0.1%	9,900万円	0.3%	△6,469万円	△65.3%	9,900万円	0.2%
地 方 交 付 税	188億円	44.5%	173億5,400万円	43.2%	14億4,600万円	8.3%	173億5,400万円	40.6%
普 通 交 付 税	174億9,900万円	41.4%	160億5,300万円	40.0%	14億4,600万円	9.0%	160億5,300万円	37.5%
特 別 交 付 税	13億円	3.1%	13億円	3.2%		0.0%	13億円	3.1%
震 災 復 興 特 別 交 付 税	100万円	0.0%	100万円	0.0%		0.0%	100万円	0.0%
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	720万円	0.0%	690万円	0.0%	30万円	4.3%	690万円	0.0%
分 担 金 及 び 負 担 金	1億5,136万円	0.4%	1億6,451万円	0.4%	△1,315万円	△8.0%	1億6,451万円	0.4%
使 用 料 及 び 手 数 料	5億5,674万円	1.3%	5億6,779万円	1.4%	△1,105万円	△1.9%	5億6,779万円	1.3%
国 庫 支 出 金	39億5,601万円	9.4%	32億6,918万円	8.1%	6億8,683万円	21.0%	43億7,932万円	10.2%
県 支 出 金	21億2,114万円	5.0%	21億2,022万円	5.3%	92万円	0.0%	26億1,209万円	6.1%
財 産 収 入	1億5,069万円	0.4%	1億7,345万円	0.4%	△2,276万円	△13.1%	1億7,345万円	0.4%
寄 附 金	1億2,822万円	0.3%	1億1,000万円	0.3%	1,822万円	16.6%	1億1,000万円	0.3%
繰 入 金	21億6,177万円	5.1%	21億9,202万円	5.5%	△3,025万円	△1.4%	25億7,550万円	6.0%
諸 収 入	19億9,117万円	4.7%	9億5,697万円	2.4%	10億3,420万円	108.1%	9億6,379万円	2.3%
市 債	26億3,120万円	6.2%	40億3,590万円	10.0%	△14億 470万円	△34.8%	46億6,320万円	10.9%
歳 入 合 計	422億2,300万円	100.0%	401億7,800万円	100.0%	20億4,500万円	5.1%	427億9,761万円	100.0%

歳 出(性質別)

区 分	令和4年度当初予算		令和3年度当初予算		比 較		【参考】 令和3年度6月追加補正後予算	
		構成比		構成比		伸率		構成比
人 件 費	87億1,197万円	20.6%	87億3,779万円	21.8%	△2,582万円	△0.3%	87億7,675万円	20.5%
物 件 費	69億7,430万円	16.5%	68億1,005万円	17.0%	1億6,425万円	2.4%	73億7,454万円	17.3%
維 持 補 修 費	5億9,321万円	1.4%	5億2,356万円	1.3%	6,965万円	13.3%	5億4,160万円	1.3%
扶 助 費	47億3,188万円	11.2%	47億 537万円	11.7%	2,651万円	0.6%	47億 985万円	11.0%
補 助 費 等	63億4,905万円	15.1%	60億7,575万円	15.1%	2億7,330万円	4.5%	70億5,792万円	16.5%
普 通 建 設 事 業 費	40億 727万円	9.5%	35億6,945万円	8.9%	4億3,782万円	12.3%	44億9,642万円	10.5%
災 害 復 旧 事 業 費	2,400万円	0.1%	2,400万円	0.1%		0.0%	1億 500万円	0.2%
公 債 費	52億6,668万円	12.5%	50億7,873万円	12.6%	1億8,795万円	3.7%	50億7,873万円	11.9%
積 立 金	10億8,617万円	2.6%	8,907万円	0.2%	9億9,710万円	1,119.5%	8,907万円	0.2%
投 資 及 び 出 資 金	14億4,437万円	3.4%	15億4,613万円	3.8%	△1億 176万円	△6.6%	15億4,613万円	3.6%
貸 付 金	4億8,280万円	1.1%	4億7,880万円	1.2%	400万円	0.8%	4億8,230万円	1.1%
繰 出 金	25億 130万円	5.9%	24億8,930万円	6.2%	1,200万円	0.5%	24億8,930万円	5.8%
予 備 費	5,000万円	0.1%	5,000万円	0.1%		0.0%	5,000万円	0.1%
歳 出 合 計	422億2,300万円	100.0%	401億7,800万円	100.0%	20億4,500万円	5.1%	427億9,761万円	100.0%

※令和3年度当初予算は骨格的予算となっていることから、参考として、本予算である6月追加補正後予算額を掲載しています。

◎一般会計歳入の状況



自主財源 (市が自分の力で得られるお金です)

- 市 税**—市民税や固定資産税など、市民の方に納めていただくお金
- 繰 入 金**—特別会計や各基金などから繰り入れるお金
- 諸 収 入**—他の収入科目に当てはまらないお金 (預金利子や貸付金元利収入など)
- 使 用 料 及 び 手 数 料**—公共施設を使用した時や住民票を取得した時などに支払っていただくお金
- 分 担 金 及 び 負 担 金**—市の事業で特に利益を受ける方から、その受益の範囲で負担していただくお金 (保育料など)
- 財 産 収 入**—市が所有する財産を貸し付けしたり、売り払いをしたことにより生じるお金

依存財源 (国や県の基準に基づいて得られるお金です)

- 地方交付税**—国が地方公共団体間の財源不均衡を調整するための交付金 (普通交付税、特別交付税など)
- 普通交付税**—地方交付税のひとつで、人口、面積、学校数など市町村の状況をもとに計算され、交付されるお金
公債費 (借金返済額) が一定の基準により、普通交付税として交付される場合もあります
- 市 債**—公共施設の建設などの財源として市が借り入れる長期の借入金
- 国庫支出金**—国が特定の事務・事業に対して交付する負担金や補助金など
- 県 支 出 金**—県が特定の事務・事業に対して交付する負担金や補助金など
- そ の 他**—国や県の税金を、各交付金として一定の基準により地方に交付されるお金
(地方特例交付金、地方消費税交付金、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、
ゴルフ場利用税交付金、交通安全対策特別交付金、環境性能割交付金、法人事業税交付金)
- 地方譲与税**—国税が一定の基準によって地方に譲与されるお金 (自動車重量譲与税、地方揮発油譲与税)

◎一般会計歳出の状況



義務的経費 (支出が義務付けられている経費です)

- 人 件 費** 議員や職員などに支払われる給与などの経費
- 扶 助 費** 社会保障制度の一環として、児童、高齢者、障がい者、生活困窮者を援助するための経費
- 公 債 費** 市が借り入れた地方債(借入金)の返済に要する経費

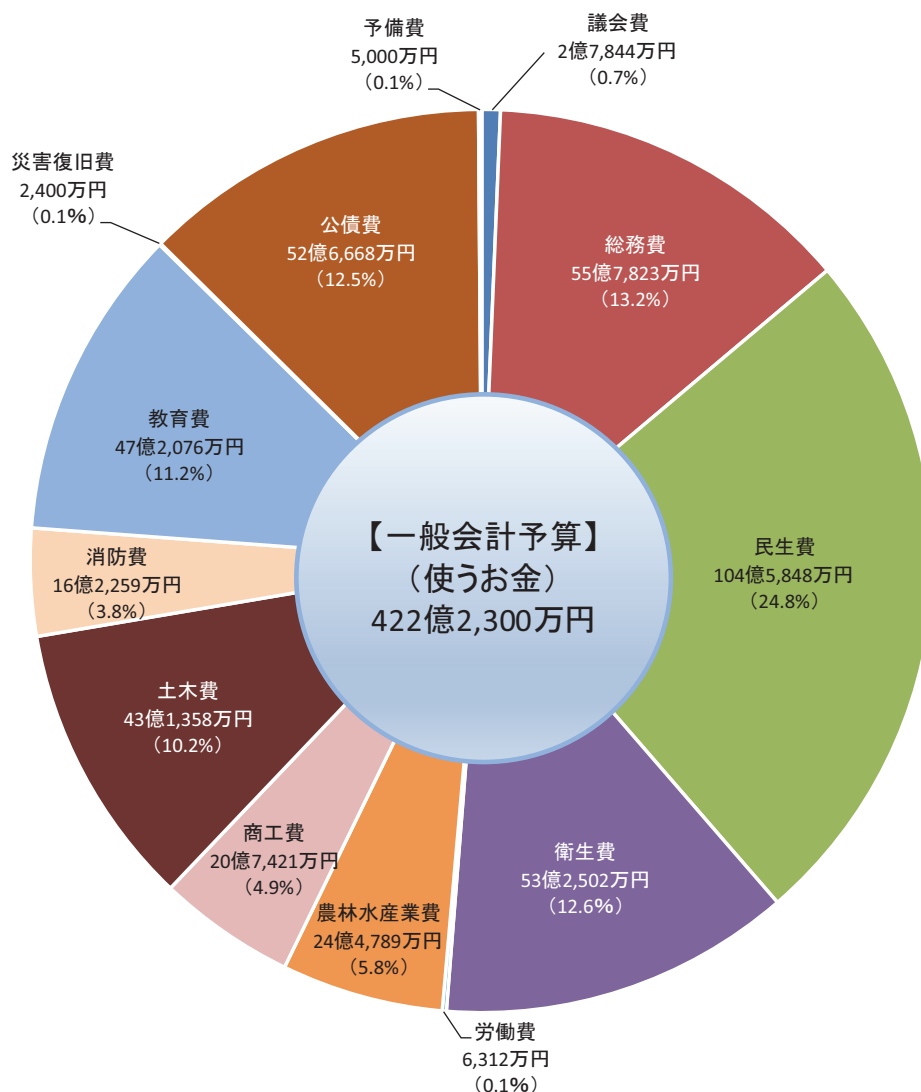
投資的経費 (道路や学校など社会基盤の整備に充てる経費です)

- 普通建設事業費** 生活基盤整備のための経費で、主に道路や橋、学校など公共用、公用施設の新増改築などに要する経費
- 災害復旧事業費** 風水害や地震などの自然災害で被害を受けた公共施設を復旧するための経費

その他の経費 (義務的経費、投資的経費以外の経費です)

- 物 件 費** 旅費、委託料などの事務的経費
- 繰 出 金** 他の特別会計への繰出に要する経費
- 補 助 費 等** さまざまな団体への補助金、負担金、報償費などの経費
- 維 持 補 修 費** 道路や公共施設などの効用を維持修繕するための経費
- そ の 他**
 - (投資及び出資金) 病院、水道、下水道事業会計へ出資する経費
 - (貸 付 金) 公益上の目的を持って個人や団体に貸し付ける経費
 - (積 立 金) 特定の目的のために設けられた基金などに積立する経費
 - (予 備 費) 不測の事態が起きた場合に備えておく経費

◎一般会計歳出(目的別)の状況



- 議会費**—議員の報酬や費用弁償、議会事務局の人件費及び事務経費など議会に関するすべての経費
- 総務費**—全般的な管理事務・企画調整事務に要する経費、支所及び出張所の経費、税務に関する経費、戸籍及び住民基本台帳に関する経費、選挙に関する経費、統計調査に関する経費、監査委員に関する経費、他の目的区分のいずれにも分別できない経費
- 民生費**—市民の社会生活を保障するために必要な経費で、社会福祉、障がい者、高齢者、児童福祉、生活保護及び災害救助関係の経費
- 衛生費**—衛生的な生活環境を保つための経費で、伝染病予防費、結核予防費、火葬場費、ごみ処理費、し尿処理費などの経費
- 労働費**—失業対策及び雇用の拡大などに要する経費
- 農林水産業費**—農業委員会や農林水産業の振興のために要する経費で、農業土木、農業構造改革、園芸振興、畜産振興、林業振興及び水産業振興などの経費
- 商工費**—商工業振興や観光振興などの経費
- 土木費**—土木関係経費で、主に市道や橋りょうなどの整備や維持管理、住宅の建設や維持管理などの経費
- 消防費**—災害防除、消防活動及び災害が生じた場合に被害を軽減する活動や消防施設整備などの経費
- 教育費**—教育委員会、幼稚園、小・中学校及び義務教育学校、社会教育、文化財など教育に関するすべての経費
- 災害復旧費**—災害によって被害を受けた公共施設を復旧するための経費
- 公債費**—市が借り入れた長期・短期の借入金の返済に要する経費
- 予備費**—不測の事態が起きた場合に備えておく経費

市民1人当たりの予算

市の財政について、皆さんに身近な形で理解していただくため、市の予算を市民1人当たりの金額で表しました。

市政運営の基本となる一般会計の令和4年度予算422億2,300万円を、人口6万4,351人（令和4年2月末日現在）で割った金額です。

【1人当たりの貯金総額】
33万円

一般会計令和3年度末現在高見込
214億6,492万円
を市民1人当たりにした金額です

【1人当たりの借金総額】
71万円

一般会計令和3年度末現在高見込
457億8,578万円
を市民1人当たりにした金額です

収入

市民税、固定資産税などの市税	11.2万円	17%
国や県から交付される地方交付税や補助金など	42.3万円	65%
公共施設などを建てる際、複数年にわたって国や銀行などから借りるお金（市債）	4.1万円	6%
施設使用料や手数料など	4.6万円	7%
基金などから繰り入れるお金	3.4万円	5%
合計	65.6万円	100%

支出

職員の給料、手当などの人件費	13.5万円	21%
市債の返済費用（公債費）	8.2万円	13%
道路や施設の整備等、災害復旧費	7.3万円	11%
生活保護費、医療助成費などの扶助費	7.4万円	11%
電気、水道料、事務用品費	10.8万円	16%
下水道、病院、国民健康保険など他会計への繰出金	6.1万円	9%
各種団体への補助、火災保険料など	9.9万円	15%
中小企業向け融資やのぞみローンなど	0.7万円	1%
基金の積み立てなど	1.7万円	3%
合計	65.6万円	100%

収入のうち、自分たちの力で得た市税などの収入（自主財源）は、全体の30%程度です。地方交付税や国・県からの補助金等に依存している収入が70%を占めています。

支出は、人件費が21%、市債の返済が13%、生活保護などの扶助費が11%と義務的な経費の占める割合が大きくなっています。また、道路などの公共施設整備に係る投資的経費（前年度12%）、電気・水道料などの公共施設維持管理に係る経費（前年度17%）などは、ほぼ前年度と同水準で推移しています。